

**学部規模でのポジティブ行動支援（SWPBS）  
「中学部行動目標設定表」を用いた教育実践  
～ルールを守ろう編～**

# 1 中学部の現状

## (教育課程)

### 1) 肢体不自由部門

- ・ 肢体不自由単一
- ・ 肢体不自由重複

### 2) 病弱部門

- ・ 病弱単一
- ・ 病弱重複

### 3) 知的障がい部門

- ・ 知的障がい単一
- ・ 知的障がい重複

### 4) 訪問部門

- ・ 肢体不自由単一
- ・ 病弱重複

- ・ 4つの教育課程があり、障がい種も多い

- ・ 学部教員全員での共通理解や支援体制構築が大切



平成30年度より  
ポジティブ行動支援 (SWPBS)  
を実施

(令和4年度) 11学級 生徒数 48名  
教員 31名

# これまでの実践研究の流れ

H30年度～ 登校支援

- ・ 不登校生徒と担任を学部全体で支える支援体制作り
- ・ 生徒が安心して自信をもって楽しく過ごせる学部づくり

グループで話し合いを進めたり支援方法を検討したりして、共通理解を図るシステムの定着



学部全体（教員・生徒）で、共通の目標を掲げて実践に取り組むことを決定



R元年度 学部全教員で話し合いを行い、  
**【中学部版】 行動目標設定表** を作成

## 2 本校中学部におけるSWPBS

令和2年度～ 全体支援

平成30年度～ 登校支援

組織的アプローチで取り組む

**第1層支援**  
学校・学級規模  
全体支援  
(全生徒対象)

**第3層支援**  
特別な支援を必要とする個人

**第2層支援**  
配慮の必要な一部の生徒



# 【中学部版】行動目標設定表

全教員で意見を出し、将来の自立に向けて生徒たちに身につけてほしいスキルをまとめ、行動目標設定表を作成（全障がい種対象）

## 3つの大切

「ルールを守ろう」

「すてきな伝え方をしよう」

「チャレンジしよう」

令和4年度のテーマ

→令和3年度末に3つの中のどのテーマで実践研究に取り組むか全教員で話し合い、「ルールを守ろう」に決定

行動目標設定表

R2.4.15

|                   |                | ルールを守ろう                                   | すてきな伝え方をしよう   | チャレンジしよう  |
|-------------------|----------------|---|---|---|
| 授業中               | 知的<br>病弱<br>肢体 | ・時間を守ろう<br>(始まり・終わり・作業時間)<br>・決められた活動をしよう | 知的<br>病弱<br>肢体<br>・「です」「ます」を使おう<br>・援助要求をしよう                                      | 知的<br>病弱<br>肢体<br>・自分で目標を決めて達成しよう<br>・自分の意思を伝えよう<br>(挙手・カード選択)              |
|                   | 自主             | ・指示や促しに応じて活動に参加しよう                        | 自主<br>・対象物(教材等)に手を出そう<br>・発声しよう   | 自主<br>・選択をしよう<br>(タブレット・具体物に手を伸ばさず・視線を向ける)                                  |
| 給食                | 知的<br>病弱<br>肢体 | ・適切な姿勢で食べよう<br>・手や口を清潔にしよう                | 知的<br>病弱<br>肢体<br>・「いただきます」「ごちそうさま」を伝えよう<br>・手伝ってもらったら感謝の気持ちを伝えよう                 | 知的<br>病弱<br>肢体<br>・苦手な食材も食べてみよう<br>・自分から準備や後片付けをしよう                         |
|                   | 自主             | ・完食しよう                                    | 自主<br>・食べたい気持ちを伝えよう<br>(手を伸ばさず・視線を向ける)  | 自主<br>・味や匂いを感じよう<br>・苦手な食材も食べてみよう   |
| 休み<br>時間          | 知的<br>病弱<br>肢体 | ・トイレをすませて遊ぼう<br>・人と適切な距離をとろう              | 知的<br>病弱<br>肢体<br>・「ありがとう」「ごめんね」「一緒にしよう」を伝えよう<br>・教室から出るときは行き先を伝えよう<br>(トイレ・次の授業) | 知的<br>病弱<br>肢体<br>・いろいろな友達や先生と関わろう<br>・いろいろな遊びをしよう                          |
|                   | 自主             | ・トイレに行こう<br>・水分補給をしよう                     | 自主<br>・遊びを選択しよう<br>(手を伸ばさず・視線を向ける)<br>・教員の働きかけに対して応答しよう<br>(発声・目をばちばち・快の表情)       | 自主<br>・遊びを選択しよう<br>(手を伸ばさず・視線を向ける)<br>・教員の働きかけに対して応答しよう<br>(発声・目をばちばち・快の表情) |
| 登下校<br>(朝の会・帰りの会) | 知的<br>病弱<br>肢体 | ・朝・帰りの準備を時間までにしよう<br>・話をしている人の方を向こう       | 知的<br>病弱<br>肢体<br>・名前を呼ばれたら返事をしよう<br>・友達や先生に「おはようございます」「さようなら」を伝えよう               | 知的<br>病弱<br>肢体<br>・自分でできることを増やそう<br>・目標を決めたり振り返ったりしよう                       |
|                   | 自主             | ・朝の会・帰りの会で係の仕事をしよう<br>(スイッチ)              | 自主<br>・あいさつをしよう<br>(発声、ハイタッチ、笑顔、アイコンタクト)  | 自主<br>・クラス外の人とあいさつをしよう  |

※令和2年度のテーマ「すてきな伝え方をしよう」、令和3年度のテーマ「チャレンジしよう」

# 3 令和4年度の実践研究の目的・方法

## ★目的

公共の場での正しいマナーや，集団や社会の一員として行動するためのルールを知り，自分の役割を果たしたり，適切に行動したりするスキルの向上を目指す

教員のスキルアップを図る



## ★方法

- ① 全教員が行動目標設定表の「ルールを守ろう」に関連する項目で，指導計画立案シートを作成し，指導実践に取り組む  
教員間で共通理解を図って，全生徒へ支援を行う
- ② 生徒に，チャレンジした内容と成果を具体的にフィードバックする
- ③ 研修で支援方法を学んだり事例研究に取り組んだりする

## 4 実践研究の方法①

全教員が行動目標設定表の「ルールを守ろう」に関連する項目で指導計画立案シートを作成し，指導実践に取り組む教員間で共通理解を図って，全生徒へ支援を行う



# ☆指導実践の流れ

| 月 日             | 題 目                       | 内 容   |
|-----------------|---------------------------|---|
| 9月中旬<br>～10月上旬  | ・ 指導計画立案シートを作成            | ・ 各教員が指導計画立案シートを作成する  |
| 10月13日          | ・ 事例検討会<br>(1時間)          | ・ 各教員が指導計画チェックリストを使い，指導目標や指導の手立ての検討（チェック）を行う<br>・ グループで事例の検討を行う（1事例）<br>・ グループで話し合ったことを3分程度で全体に発表し，情報の共有を図る |
| 11月下旬<br>～12月上旬 | ・ グループ別事例検討会<br>(30分～40分) | ・ 第1回事例検討会で検討した事例について，進捗状況を確認し，必要であれば，アイデアを出し合う<br>・ 他の事例の進捗状況の報告を行う<br>・ 他に検討したい事例があれば，アイデアを出し合う           |
| 12月8日           | ・ 学部事例報告会（40分）            | ・ グループ別事例検討会で話し合ったことを，それぞれのグループから5分程度で発表し，情報の共有を図る  |
| 2月9日            | ・ 学部研修会<br>(50分)          | ・ 代表事例の結果報告を行う<br>・ 令和4年度の研究のまとめをする   |

# ☆指導計画立案シートを作成（9月中旬～10月上旬）

- ・指導を始める前に，指導計画立案シートⅠ・Ⅱを作成した
- ・作成した指導計画立案シートⅠ・Ⅱは，グループ（※）ごとにパワーポイントのファイルにまとめ，校内のパソコン共有フォルダに保存し，情報を共有できるようにした

## ※グループ

- ・肢体
- ・自立主・病弱
- ・知的1年生
- ・知的2年生
- ・知的3年生

の5グループ

| 指導計画立案シート様式Ⅰ   |  | キャリア教育の領域と系列（Ⅲ社会生活・はたらく・③時間管理）  | R4年 10月18日             |
|--|--|---|------------------------|
| 学年・生徒氏名（イニシャル）： 1年・A   |  | 担当教員： M   | 指導場面： 昼休み              |
| A(環境設定や教示)<br>・教える手順を時系列に書く<br>・修正の仕方を書く 等   |  | B(指導目標)<br>・2～3週間で達成できる<br>具体的な目標を記入する  | C(結果)<br>・強化の仕方        |
| <b>○ステップ2(10月24日～)</b><br>①本を準備し，クリップを付けておく。<br>②スケジュール(ミニホワイトボードに絵カードを貼っておく)を準備し，給食から5時間目の授業まで(12時20分から13時30分)の予定を説明する。スケジュールは，本生徒が活動中は，手が届かない，本生徒が目に見えない場所に置いておく。<br>③読書の時間になったら，本を2冊提示し，読みたい本を1冊選ぶよう声かけする。<br>④読み始めてから5分経ったら，タイマーを20秒鳴らす。<br>20秒鳴った後，「終わり」と声かけする。それを2セット行い，2セット行っている間に，本生徒が本に手をかけて本を閉じようとしたら，タイマーを止める。<br>⑤タイマーが鳴っている間や声かけで，本に手をかけて本を閉じることができたら，「終わったね。すごいね。」と声をかけ，本を受け取る。<br>⑥タイマーが20秒鳴った後，教師の「終わり」と声かけを2セット行ってから10秒経っても本に手をかけようとする場合，「タイマーが20秒鳴った後，教師の「終わり」の声かけ」を続け，いつ本に手をかけるか見守る。<br>⑦本に手をかけて本を閉じることができたら，「終わったね。すごいね。」と声をかけ，本を受け取る。 |  | “タイマーが20秒鳴った後，教師の「終わり」の声かけ”が2セット行われている間に，本に手をかけて本を閉じることができる。<br>(2セット目の「終わり」の声かけから10秒以内に本に手をかけられたらOK) | ・褒め言葉<br>「終わったね。すごいね。」 |
|  |  | 教材： 本，クリップ，タイマー   | 1                      |

# ☆事例検討会について① (10月13日)

(1) 各教員が立てた指導計画立案シートⅠについて、指導計画チェックリストを使い、指導目標や指導の手立ての検討(チェック)を行った



①指導計画立案シートⅠを書き終えたら、A(環境設定や教示)、B(指導目標)、C(結果)を確認しましょう。

○・・・できている、できそう    △・・・もう少し見直しが必要

| B(指導目標)                                 | チェック欄 |
|---|-------|
| ・2～3週間で達成できそうな目標である。                    |       |
| ・目標が具体的である。                             |       |
| ・設定した目標に対し、記録をとることができる。                 |       |
| A(環境設定や教示)                              |       |
| ・教える手順を時間の流れにそって書くことができている。             |       |
| ・教える手順を具体的に書くことができている。                  |       |
| ・考えた環境設定や手順で指導をすると、目標を達成することができそうである。   |       |
| ・生徒の実態にあった教材や、目標達成につながる教材を準備することができている。 |       |
| C(結果)                                   |       |
| ・結果(強化の仕方)を具体的に書くことができている。              |       |
| ・目標達成につながる結果を書くことができている。                |       |

②△がついた項目については、お近くの先生、学級、グループ等で話し合うと、支援に生かせるアイデアをもらうことができます。  
研究課の方にもいつでもお声かけください。一緒に考えさせていただきます。

③最後に、2項目に、チェックをお願いいたします。

・本校での勤務は今年からですか?      はい / いいえ

・今年、継続研修に参加していますか?      はい / いいえ

# ☆事例検討会について②（10月13日）

(2) 指導目標や指導の手立ての設定に悩んでいる方や、指導を進めているけれど指導が順調に進まない方に対して、グループ（※）で支援の方法のアイデアを出し合い、事例の検討を行った

※グループ：自立主・肢体・病弱①，  
自立主・肢体・病弱②，知的1年生，  
知的2年生，知的3年生の5グループ

(3) グループで話し合ったことを3分程度で全体に発表し，情報共有を図った



|  |   |    |              |
|--|---|----|--------------|
| 学年・組：  | 年 | 組， | 名前（インシャル表記）： |
| 指導教員：  |   |    |              |
| 後期の指導目標：   |   |    |              |
| （今回の指導実践の指導目標と，後期個別の指導計画の指導目標が，リンクしている場合のみ記入）                |   |    |              |
| ①指導目標：   |   |    |              |
| （指導目標を変更した方がいいと思われる場合は，指導目標をもう一度検討しましょう。グループで出たアイデアを書きましょう。） |   |    |              |
| ☆指導目標が妥当かどうか（2～3週間で達成できる目標であるかどうか）                           |   |    |              |
| ☆指導目標が具体的かどうか  |   |    |              |
| ②目標達成のための支援のアイデア<br>（グループで出たアイデアを書きましょう。）                    |   |    |              |
| ☆環境設定や教示の仕方  |   |    |              |
| ☆教材  |   |    |              |
| ☆強化の仕方   |   |    |              |
| ③備考  |   |    |              |

※必要な項目のみにご記入ください。全ての項目に記入しなくても大丈夫です。  
※時間があればロールプレイもしてみてください。

# ☆指導計画チェックリストを集計した結果①（令和4年度）

○・・・できている    △・・・もう少し目標が必要

|  | ○  | △ | 記入なし |
|--|----|---|------|
| 2～3週間で達成できそうな目標である。                    | 25 | 3 |      |
| 目標が具体的である。                             | 25 | 3 |      |
| 設定した目標に対し、記録をとることができる。                 | 24 | 4 |      |
| 教える手順を時間の流れにそって書くことができている。             | 25 | 3 |      |
| 教える手順を具体的に書くことができている。                  | 26 | 2 |      |
| 考えた環境設定や手順で指導をすると、目標を達成することができそうである。   | 26 | 2 |      |
| 生徒の実態にあった教材や、目標達成につながる教材を準備することができている。 | 25 | 3 |      |
| 結果（強化の仕方）を具体的に書くことができている。              | 27 | 1 |      |
| 目標達成につながる結果を書くことができている。                | 24 | 4 |      |

回収率：100%， 令和4年度：28/28人

## ☆指導計画チェックリストを集計した結果②

△（もう少し見直しが必要）が少ない

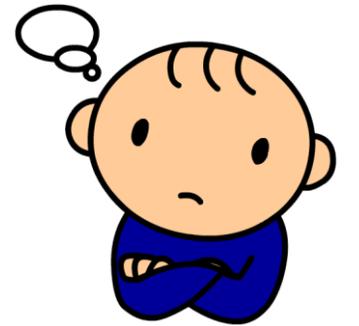
➤結果（強化の仕方）を具体的に書くことができる



△（もう少し見直しが必要）がやや多い

➤設定した目標に対し，記録をとることができる

➤目標達成につながる結果を書くことができる



# ☆指導計画チェックリストを集計した結果③（令和3年度と令和4年度の比較）

○・・・できている。できそう。    △・・・もう少し見直しが必要

|  | 令和3年度 |   |      | 令和4年度 |   |
|--|-------|---|------|-------|---|
|  | ○     | △ | 記入なし | ○     | △ |
| 2～3週間で達成できそうな目標である。                    | 13    | 8 | 5    | 25    | 3 |
| 目標が具体的である。                             | 22    | 0 | 4    | 25    | 3 |
| 設定した目標に対し、記録をとることができる。                 | 20    | 2 | 4    | 24    | 4 |
| 教える手順を時間の流れにそって書くことができている。             | 23    | 3 | 0    | 25    | 3 |
| 教える手順を具体的に書くことができている。                  | 23    | 3 | 0    | 26    | 2 |
| 考えた環境設定や手順で指導をすると、目標を達成することができそうである。   | 24    | 2 | 0    | 26    | 2 |
| 生徒の実態にあった教材や、目標達成につながる教材を準備することができている。 | 24    | 0 | 2    | 25    | 3 |
| 結果（強化の仕方）を具体的に書くことができている。              | 20    | 5 | 1    | 27    | 1 |
| 目標達成につながる結果を書くことができている。                | 21    | 4 | 1    | 24    | 4 |

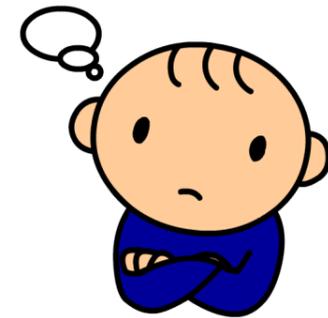
# ☆指導計画チェックリストを集計した結果④(令和3年度と令和4年度との比較)

## △ (もう少し見直しが必要) が減少



- 2～3週間で達成できそうな目標である (△の数：8→3)
- 結果 (強化の仕方) を具体的に書くことができる (△の数：5→1)

## △ (もう少し見直しが必要) が増加



- 目標が具体的である (△の数：0→3)
- 生徒の実態にあった教材や、目標達成につながる教材を準備することができている (△の数：0→3)

# ☆考察①

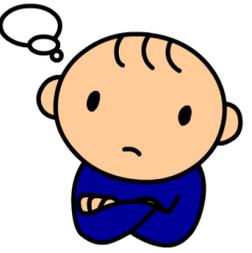


- “結果（強化の仕方）を具体的に書くことができる”の△の数が、令和4年度は少なく、また、令和3年度と比較すると減った  
→夏休みに行った、好子を見つける研修が効果があったのかもしれない
- “2～3週間で達成できそうな目標である”の△の数が、令和4年度は令和3年度より減った  
→後期の個別の指導計画の目標を、いくつかの短期目標におろして指導目標を設定する（令和3年度実施）より、直接、短期目標を設定する方が、指導目標を立てやすかったのかもしれない

※好子：「行動の直後に出現すると、その行動の将来の生起頻度を上げる、刺激、出来事、条件のこと」

引用文献：杉山尚子，島宗理，佐藤方哉，リチャード・W・マロット，マリア・E・マロット，（1998）『行動分析学入門』産業図書 P.5

## ☆考察②



- 令和4年度の中で、“目標達成につながる結果を書くことができる”の△の数がやや多かった  
→結果（強化の仕方）を具体的に書くことはできるが、それが目標達成につながるかどうか自信がないのかもしれない
- 令和4年度は令和3年度より、“設定した目標に対し、記録をとることができる”の△の数がやや多かった  
→記録表作成については、研修会の中で説明のみ行ったので、演習形式の記録表を作成する研修を実施したらいいのかもしれない
- 令和4年度は令和3年度より、“生徒の実態にあった教材や、目標達成につながる教材を準備することができる”の△の数がやや多かった  
→教材作りの研修を実施したらいいのかもしれない

# ☆グループ別事例検討会について (11月下旬～12月上旬)

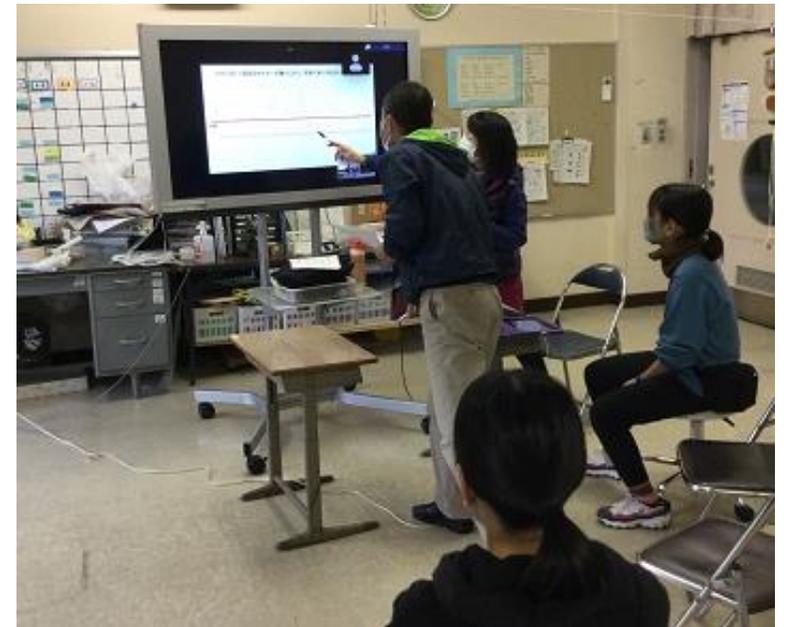
(1) 10月13日の事例検討会で検討した事例について、進捗状況や結果を確認した。必要に応じて、支援のアイデアを出し合った

(2) 他の事例の進捗状況の報告を行い、検討したい事例について、アイデアを出し合った



# ☆学部事例報告会について (12月8日)

- グループ別事例検討会で話し合ったことを，それぞれのグループから5分程度で発表し，情報共有を図った
- 発表内容  
10月13日に検討した事例の進捗状況や結果について



☆ 「ルールを守ろう」に関する  
個別の指導計画の評価アンケート(全27名)

- ・ 達成した ◎ (23名)
- ・ できることが多くなった ○ (4名)
- ・ できるようになってきた △ (0名)
- ・ できなかった □ (0名)

◎の達成率 85%



個々の教員が行動目標設定表の「ルールを守ろう」に関連する項目で、指導計画立案シートを作成し、指導実践に取り組み、指導実践の対象となったほとんどの生徒のスキルはアップしたと推測される

## 5 実践研究の方法①と結果

- ・ 全教員が行動目標設定表の「ルールを守ろう」に関連する項目で、指導計画立案シートを作成し、指導実践に取り組む



- ・ 各教員が「ルールを守ろう」に関連する項目で、指導計画立案シートを作成し、指導実践に取り組むことができた
- ・ 27の指導実践のうち、23の指導実践で目標達成となった

- ・ 教員間で共通理解を図って、全生徒へ支援を行う



事例検討会，グループ別事例検討会，学部事例報告会で，個々の指導実践を検討したり進捗状況を確認したりして，教員間で共通理解を図って生徒の支援を行うことができた

## 6 実践研究の方法②

生徒に良い行動を具体的にフィードバックする

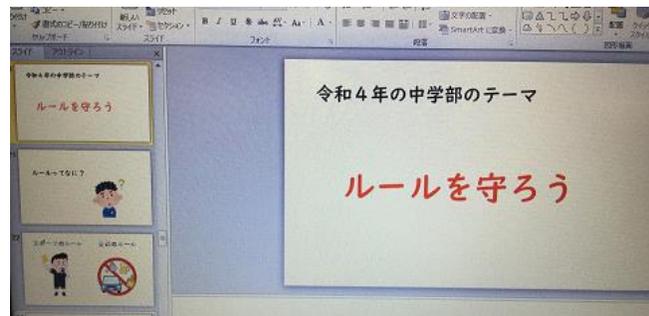
☆令和4年度

学部全教員の意見をふまえて、生徒への具体的なフィードバックの方法を決定

- ・賞のネーミング → ルールを守れたで賞
- ・表彰の場面 → 集会（リモート）で学部のホールで表彰
- ・開催数と称賛人数 → 2週間に1回程度（合計8回）、  
1回につき4～6名程度
- ・学級でフィードバック → 学級内で生徒が見やすく理解しやすい形で、  
目標に対する結果を提示し、日常的に  
フィードバックする

# ☆令和4年度の教材

①



ルールを守ろう

## ①生徒説明用スライド

- ・学部集会で説明（11月7日）

②

## ②「学級でフィードバック」

- ・学級内で生徒が見やすく理解しやすい形で，目標に対する結果を提示し，日常的にフィードバックする



③

## ③「ルールを守れたで賞」賞状

- ・集会で生徒に「ルールを守れたで賞」の賞状授与を行う



## ☆ 「ルールを守れたで賞」 受賞者の人数 (R2年度, R3年度と比較)

|            | R2年度<br>「すてきde賞」 | R3年度<br>「チャレンジ大賞」 | R4年度<br>「ルールを守れたで賞」 |
|------------|------------------|-------------------|---------------------|
| 中学部生徒数 (人) | 47               | 47                | 48                  |
| 受賞者 (人)    | 32               | 47                | 48                  |
| 受賞者の割合 (%) | 68               | 100               | 100                 |

## ☆ 「ルールを守れたで賞」 受賞者の感想



- 「ルールを守れたで賞」をもらえて嬉しかった
- 表彰されるのは恥ずかしかったけど、嬉しかった
- これからも姿勢に気をつけようと思う
- 本物の賞状をもらうことに緊張しました

## 7 実践研究の方法②の結果

生徒に良い行動を具体的にフィードバックする



- 中学部の生徒48名中，48名の生徒全員に，賞状を授与することができ，生徒に良い行動を具体的にフィードバックすることができた。



## 8 実践研究の方法③

研修で支援方法を学んだり事例研究に取り組んだりする

個別の指導計画に関する研修会を実施する  
(年間2回以上)

- ・ 全体研修 3回 (4月下旬, 8月, 9月中旬)
- ・ 選択研修 1回 (8月22日午前)
- ・ 継続研修 1回 (9月~11月)

## 全体研修 1 回目

★ 4 月 28 日 (木)

- 個別の指導計画を立案・評価する際の留意点について

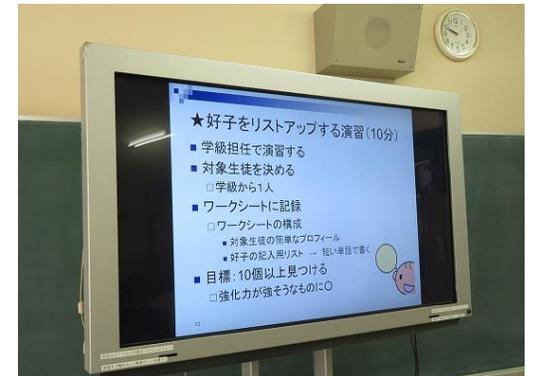
## 全体研修 2 回目

★ 8 月 2 日 (火) or 8 月 19 日 (金)

- 好子を見つける研修

担任同士で 1 チームになり，演習形式で生徒の好子を見つける

1. 好子とは何かを知る
2. チームで話し合っ、生徒の好子のリストアップをする
3. 好子を教育活動に取り入れるアイデアを出す



# ☆各教員の指導計画立案シート的好子の数

(令和3年度と令和4年度との比較)

|        | 令和3年度   | 令和4年度  |
|--------|---|--|
| 褒め言葉   | 45  | 27   |
| 褒め言葉以外 | <p>13</p> <p>※内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「○」記入…6</li> <li>・スタンプ…1</li> <li>・グッドサイン…1</li> <li>・拍手…1</li> <li>・からだラッピング…1</li> <li>・称賛のコメントを記入…1</li> <li>・手浴…1</li> <li>・自分の写真…1</li> </ul> | <p>19</p> <p>※内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「○」記入…5</li> <li>・シール…2</li> <li>・グッドサイン…2</li> <li>・拍手…1</li> <li>・ハイタッチ…1</li> <li>・笑顔…1</li> <li>・好きなゲームアプリで遊ぶ…1</li> <li>・ウインドチャイム…1</li> <li>・中ホールを車椅子で1周する…1</li> <li>・車椅子が動く…1</li> <li>・バスに乗りに行く…1</li> <li>・対面学習…1</li> <li>・朝の会の司会…1</li> </ul> |

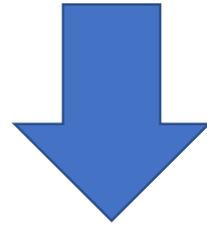
# ☆各教員の指導計画立案シートの好子の数の考察

(令和3年度と令和4年度との比較)

• 令和3年度 → 令和4年度

**褒め言葉の数・・・減少**

**褒め言葉以外の好子の数・・・増加**



「好子を見つけよう」の研修を行い、  
好子とは何かを知ったり、チームで話し合っ  
て生徒の好子のリストアップをしたりした  
ことが、影響したのかもしれない

## 選択研修

★8月22日 9:00～11:30

### • 個別の指導計画の作成と活用のための研修

個別の指導計画を作成する手順を，演習を通して身につける

1. 子どもの問題を書き出す
2. 問題を整理する
3. 指導目標を見つける
4. 具体的な短期目標を設定する
5. 問題の原因をたくさん推定する
6. 原因に対応した解決策を書く
7. 指導の手立てを書く
8. 記録表を作成する



## 全体研修 3回目

★9月中旬

8月22日の研修に出ていない方が参加

- 記録の取り方について
- 指導計画立案シートの書き方について

# 継続研修（自主研修）

★ 9月～12月

対象者：8月22日の選択研修に参加した方（参加者7名，協力者4名，チーム数7）

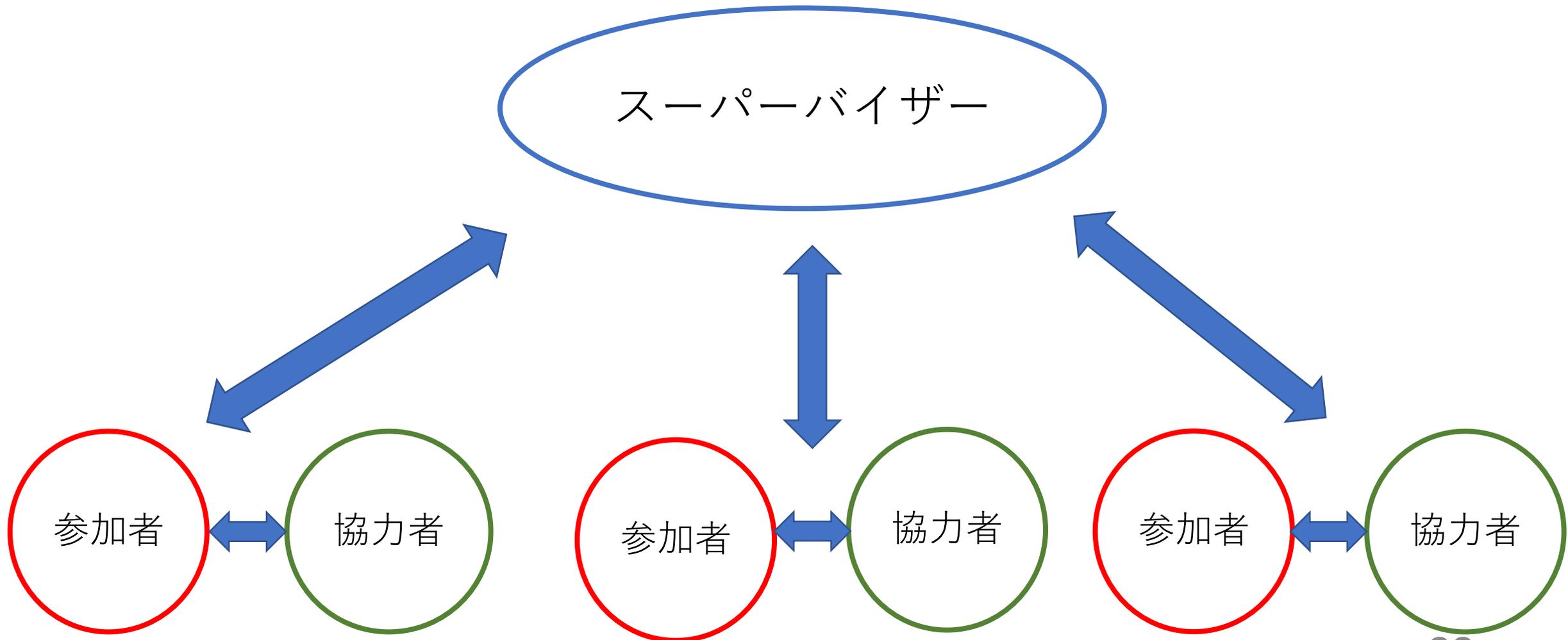
| 月 日         | 題 目                | 内 容                               |
|-------------|--------------------|-----------------------------------|
| 9月～10月上旬    | ・ ベースライン記録<br>スタート | 指導前の，指導目標に対する生徒の行動を記録する           |
| 10月上旬～11月上旬 | ・ 指導スタート           | 手立てにそって指導に取り組み，指導目標に対する生徒の行動を記録する |
| 12月         | ・ 指導の結果をまとめる       | 指導の結果をグラフ化したり，結果と考察をスライドにまとめたりする  |

※継続研修・・・8月の研修で立案した指導計画立案シートに基づき，事例研究に取り組む  
8月22日と12月上旬に事前事後アンケートを実施

# 継続研修の方法

- 参加者は，協力者と一緒に事例研究を進める
- 協力者は，参加者と一緒に事例研究を進める  
(記録や進捗状況の確認，助言，動画を撮る 等)
- 参加者と協力者は，1週間～2週間に1回程度，事例の進捗状況をスーパーバイザーに伝える
- スーパーバイザーは，参加者と協力者に事例についてアドバイスをする  
※アドバイス→記録の取り方，記録のグラフ化，記録表とグラフの読み取り，  
事例研究のまとめ方 等
- 将来的に，協力者がスーパーバイザーに，参加者が協力者になり，スキルアップを図り，協力者やスーパーバイザーを増やしていく

# 継続研修のサポート体制



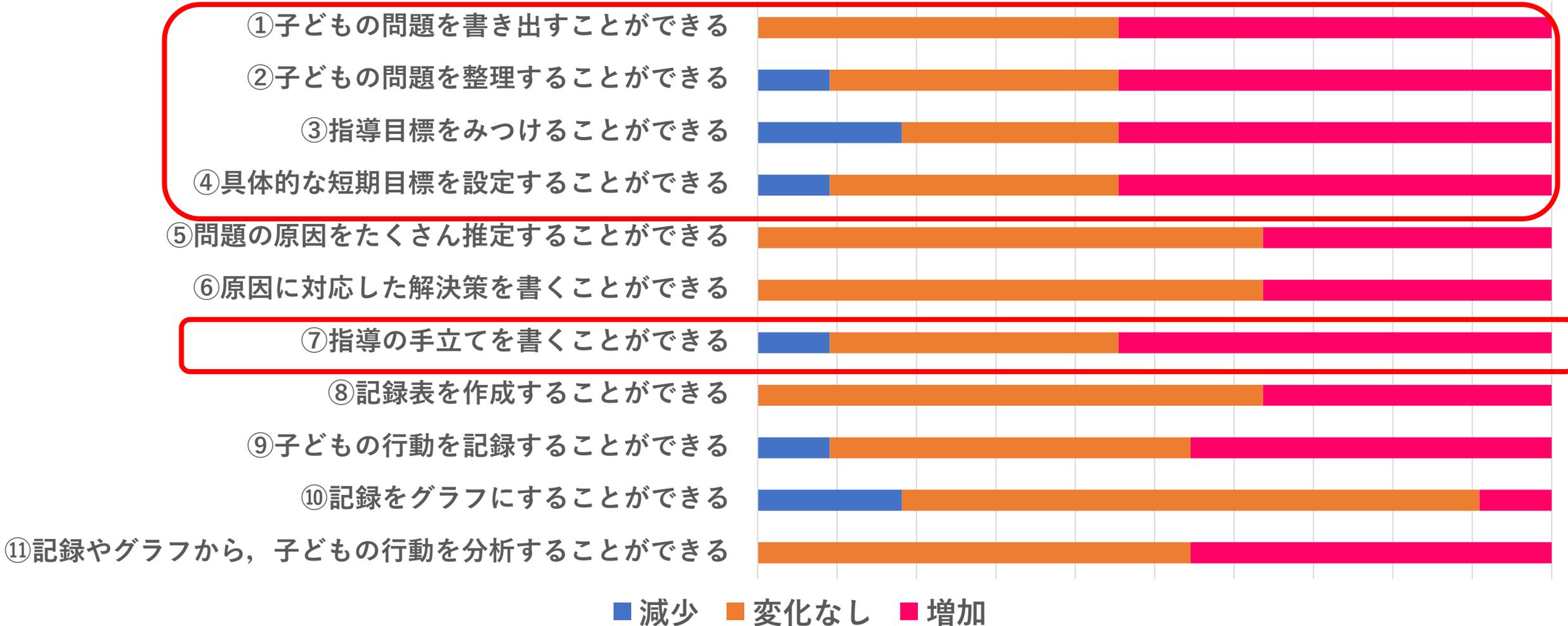
# ☆継続研修 事例の指導目標と、目標を達成したかどうか

| 指導目標  | 目標を達成したかどうか<br>(1月20日現在) |
|---|--------------------------|
| ①“タイマーが20秒鳴った後，教員の「終わり」の声かけ”が2セット行われている間に，本に手をかけて本を閉じることができる。 | 達成した○                    |
| ②朝の登校後に荷物の片付けを一人で行うことができる。                                    | 達成した○                    |
| ③朝の会までに朝のスケジュールを終わらせることができる。                                  | 達成した○                    |
| ④設定された活動を時間内にすることが3回連続でできる。                                   | 達成した○                    |
| ⑤教員の話を書く時に，教員に顔を向けて静かに話を聞き，簡単な質問に正しく答えることができる。                | 達成した○                    |
| ⑥給食前の椅子に座る時に，お尻を椅子の座面の後ろ側に下げ，背中を背もたれにつけて，ポジションを整えることができる。     | 達成した○                    |
| ⑦はみがきをする前に，近くにいる教員の所に行き，「タイマーお願いします」と伝えることができる。               | 達成した○                    |

# ☆継続研修 令和4年度事前・事後アンケート結果

参加した教員11名に、事前事後アンケート（11項目）を実施し、研修を受ける前と受けた後でスキルがアップしたかどうか確認した

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



「①子どもの問題を書き出すことができる」「②子どもの問題を整理することができる」  
「③指導目標を見つけることができる」「④具体的な短期目標を設定することができる」  
「⑦指導の手立てを書くことができる」において、増加が全体の約半分となった

# ☆継続研修 令和4年度事前事後アンケート結果 (何項目, 点数が上昇したか)

## 事前事後アンケート11項目中

|            |    |
|------------|----|
| 10項目点数上昇 ↑ | 1名 |
| 8項目点数上昇 ↑  | 3名 |
| 5項目点数上昇 ↑  | 1名 |
| 4項目点数上昇 ↑  | 2名 |
| 3項目点数上昇 ↑  | 1名 |
| 2項目点数上昇 ↑  | 1名 |
| 1項目点数上昇 ↑  | 1名 |
| 点数の変化なし    | 1名 |

点数が上昇した項目や数は個々に異なるが、11名中、10名の教員が、いずれかの項目で点数が上昇した

## 9 実践研究の方法③と結果

研修で支援方法を学んだり事例研究に取り組んだりする



- 年間5回、個別の指導計画に関する研修会を実施し、中学部の全教員が、研修会に2回以上参加した
- 継続研修に11名の教員が参加し、参加者7名が、それぞれの協力者4名とスーパーバイザーと一緒に指導目標と指導の手立てを立案し、事例研究に取り組んだ  
7事例のうち、全てにおいて改善がみられた  
事前事後アンケートの結果から、11項目のうち5項目で「増加」が全体の約半分となったり、11名中10名の教員がいずれかの項目で点数が上昇したりしたことから、スキルアップしたと推測される

# 10 来年度に向けて

## ★目的

公共の場での正しいマナーや、集団や社会の一員として行動するためのルールを知り、自分の役割を果たしたり、適切に行動したりするスキルの向上を目指す



## ★来年度に向けて

- ・ 継続すること  
（個々の指導実践，事例検討会の実施，生徒に良い行動のフィードバック）
- ・ 検討すること  
（来年度，行動目標設定表の3つのテーマのうち，どのテーマで指導実践を行うか，年度末に学部全体で決める）

## ★目的

教員のスキルアップを図る



## ★来年度に向けて

- ・ 継続していくこと（研修会の実施，継続研修）
- ・ 改善していくこと（研修会の内容の検討，必要な研修会の追加）  
→これからについて整理し，来年度の研修に生かしたい
- ・ 来年度，「行動目標設定表」の見直しを行いたい